



# 秋穰々—米豫想二百四十餘萬石

昨年に比し三割八分七厘餘の増收豫想

全國の豫想では本縣は第四位

本年の本縣稻作は播種當時より天候適順なりしも六月下旬から七月上旬へかけ低溫寡照だつたため一時苗の生育を阻まれた傾があつたが七月中旬頃から天候も恢復し温度も上り且つ適度な降雨もあつたので生育順調に進み二十日及び二十一日の

**厄日**も無事に經過し、開花登熟良好なるを得、一部地方にありては二化螟虫の發生を見、多少被害を受けたけれども全般的には大した影響なく、又風水害の被害も極めて輕微にとどまり、一面作付反別も十三萬一千五百八十九町八反で前年の作付反別に比し三千五百六十七町二反即ち零割二分七厘九毛からも増加してゐるので九月二十日現在における豫想收穫高は二百四十三萬一千七百九十八石で前年

**收穫高** に比べると六十七萬九千五百八十六石(三割八

分七厘八毛)即ち前五ヶ年平均收穫高に比し四十九萬二百六十五石(二割五分二厘五毛)の増加で、昨年大風水害の償ひが出来るわけである。

而して農林大臣官房統計課において發表せる全國の豫想收穫高は作付反別三百二十萬五千三十七町七反にして之を前年作付反別にくらべると二千八百八十三町三反(一厘)を増し而して豫想收穫高は九月二十日現在において六千七百八十四萬六千六百八十石にして前年實收高よりも千四十二萬二千四百三十三石(一割八分一厘)をまた前五ヶ年平均實收高に比し八百七十二萬五千八百九十石(一割四分八厘)を増加し豫想では

**新潟**の 三百九十二萬二千石を第一位とし、北海道これに亞ぎ兵庫を三位とし本縣は實に其の第四位である。本縣の米作豫想を郡市別に示せば次の如し

郡市	作付反別		豫想收穫高		前年收穫高		増減		豫想收穫高		前年收穫高		増減	
	町	反	石	斗	石	斗	石	斗	石	斗	石	斗	石	斗
水戸	一、九三九	町反	三、四八七	石	三、一八八	石	二、九三九	石	三、四八七	石	三、一八八	石	二、九三九	石
東茨城	二、八六七	町反	一、四七〇	石	一、四七〇	石	一、四七〇	石	二、八六七	石	一、四七〇	石	一、四七〇	石
西茨城	六、五四四	町反	七、九六二	石	七、九六二	石	七、九六二	石	六、五四四	石	七、九六二	石	七、九六二	石
那珂	一〇、八〇三	町反	一、三九六	石	一、三九六	石	一、三九六	石	一〇、八〇三	石	一、三九六	石	一、三九六	石
久慈	七、六九一	町反	九、九八〇	石	九、九八〇	石	九、九八〇	石	七、六九一	石	九、九八〇	石	九、九八〇	石
多賀	四、八二一	町反	三、〇三三	石	三、〇三三	石	三、〇三三	石	四、八二一	石	三、〇三三	石	三、〇三三	石
鹿島	九、三八一	町反	二、七五三	石	二、七五三	石	二、七五三	石	九、三八一	石	二、七五三	石	二、七五三	石
行方	六、八二二	町反	一、〇四三	石	一、〇四三	石	一、〇四三	石	六、八二二	石	一、〇四三	石	一、〇四三	石
稲敷	一、五三六	町反	一、一九一	石	一、一九一	石	一、一九一	石	一、五三六	石	一、一九一	石	一、一九一	石
新治	二、七〇九	町反	一、八七三	石	一、八七三	石	一、八七三	石	二、七〇九	石	一、八七三	石	一、八七三	石
筑波	九、三六四	町反	四、七五七	石	四、七五七	石	四、七五七	石	九、三六四	石	四、七五七	石	四、七五七	石
眞壁	二、四〇九	町反	一、九七〇	石	一、九七〇	石	一、九七〇	石	二、四〇九	石	一、九七〇	石	一、九七〇	石
結城	八、九七〇	町反	二、五七三	石	二、五七三	石	二、五七三	石	八、九七〇	石	二、五七三	石	二、五七三	石
猿島	九、七三三	町反	三、七九七	石	三、七九七	石	三、七九七	石	九、七三三	石	三、七九七	石	三、七九七	石
北相馬	五、六三三	町反	七、三三〇	石	七、三三〇	石	七、三三〇	石	五、六三三	石	七、三三〇	石	七、三三〇	石
合計	三、九八八	町反	六、七九六	石	六、七九六	石	六、七九六	石	三、九八八	町反	六、七九六	石	六、七九六	石

尙参考の爲最近五箇年間に於ける全國の作付反別及び實收高を左に掲げる、

年	作付反別	實收高
昭和六年	三、二四八、〇一・四	五五、二〇七、五八三
昭和七年	三、二五五、四七八・三	六〇、三六六、三八四
昭和八年	三、一七一、四一八・三	七一、〇八九、九二七
昭和九年	三、二〇二、一五四・四	五七、四二四、二四七
昭和十年	三、二〇五、〇三七・七	五七、四二四、二四七
昭和十一年	三、二〇五、〇三七・七	五七、四二四、二四七
第一回豫想收穫高		六七、八四六、六八〇